

第二の萬寶山事件と斷ず
中村

祖國の同胞に檄す

一、事件顛末

風潮朝鮮平安北道當時上省
既經派兵永備洋行營於民濟
院(二十才)以上者皆付歸降
の目的を以て羅遜縣各港に
遊撃隊日滞在を過日歸還に
被さる山寺村を通過の際突如
後方より拳銃三挺の威嚇を受
けたり因つて社は相成りた
身分と發砲の理由を買したる
結果保衛團一行を告げ同村
の一民家に強迫する事を見
其の保護に現れる者、凡そ其
の三氏は朴氏救出のため福山
寺村に急行し會見を申し
得たるもの不在を得し會見は
辱めたるものと朴氏と共に
電報せるに至り、翌一日
四名は支那へ逃ぐるもの
と幸ふして賣するを得

し更に愚言亂打聲を極むる
雨更二時以後、が偶々轉移
雨ありて更に支那に移
し天井に釘の下駄路に至る迄
放逐せり約四女公局員來れ
も此處邊を制止せず翌朝
公安局に至りて保衛團員二名來り
公安局に通信(保衛團書記が
現地に出張調査せる際村長宅
の天井には尙餘たる者を縛せる
紐の垂れ居るを發現せり)
始めて縛を解き去るゝ與へられ
八月十三日薄く露降を
許し放逐せり、七日より先入
月十日現地に乗り出されし
金鍾漢、金鍾武氏の金鍾根に
接し十一日午前七時半輩武氏
案内とし御嶺邊、近嶺一郡、
安順策、朴英茂、石松、張等
彼の六氏を加へ一行七名は
長蛇の状ため福山寺村に急行
役場に到りし處七十名の暴
民は青龍刀長銃長槍、棍棒
混を呑んで夜に入るを待ち土
民の嚴重なる五隻並手鮮血
一夜の行程僅かハ支那を越え
に乗つて拂掛三村中の一家
を襲見せる等難行し難行を識
て午後三時二十五里の地
點龍莊前に迎ひり三時半列
七名が針頭南氏救出の爲め福
山寺村に赴きたる決心を以て
急行して此處手を弛しんは入
月十日夜脱出遊蕩せる金鍾漢
等が其勢に急ぎ追ひに及
び勇みられずなり因りに已
むること危地に赴くるものなる
事故に至りて陣歿せるや、直ち
愚氏は藥殺に降参るなり、
に當局に報告し一時に残れる
六名の救出を願ふ事も容れ
られず已む無く愚氏は腹部の
毒氣を手當を受けし處山麓脚
に赴き同地を渡らば群衆を
報告せり八月十八日に至り

月十五日現地に向て出て出
發し支那官廳に本事件の實
任日本官廳に轉嫁しんと縣
政府及び公安局に聯合して村
内壯年者全部を他方より遣送
せし老若婦孺をみな殘し之
等をして「高麗の土匪來り
て村を襲ひ放火擄掠發給し遂
に」

大西に移動す

宮地技師等の世界的
陸

《東京通信》「大
陸移動説の實際行動を行
う」といふ學說宣
傳のため、理學博士
田村の(約山方面)約
廿七米(約三十七哩)の
移動して居る云々云々
結果が現れた。云々云々
地質學界でも未だ例に
事この觀察の結果學界
の學界の日進むこと
知られて居る。

秋田縣の三峰山三個所で大

滿洲國
皇帝 御巡狩御警衛

關東廳下署長會議

引續き機構改革問題も審議

[illegible]

一、本同盟の結成

遷安縣屬之村に於て問題あり
が暴民の爲めに虐殺せられた
事件及其交渉中に於ける宮
崎事件の經過せる悲惨なる
概況は上の如くにして、未だ
日本當局より解決の願未だ
表はれず其結果の如何を知る
由無し雖も抑も本件發生の
原因は多年内争のために思
國國民及び國民政府が排外思
想海外思想を鼓吹宣傳せられ
る結果にして且又日支間之
の信義を無視せる結果に他な
らず兩國國民の機として親善
復活の模範たらしめんとす
て選ばれたる焼店協定に基づく
結果である

無き鬼首を懸する兇徒を種別
に附すべきは勿論、兇犯を全
部の範圍と支部中央政府の陳
謝並びに近江斯の如き不義事
の發生したる場合支事士との
何れか地方とを論ぜずし皇軍
の現地保護の容認せられざる
限り本件を圓滿なる解決と見

國庫の就學兒童激増に當へる
當局では不充足な現在の市立
小學校十二校を敷設し滿蒙
の小學數を約四分の一は

の最後的主張を貫徹せん事
を期し起て
超に範圍に在る同胞諸君
諸君吾人親望同志の微力を
諒し皇軍親望同志の微力を
授を與へられん事を
昭和九年九月二十八日
華北日報新聞館及同盟

小學教員檢定

十一月中旬に行ふ

することとなるが三百八十
下筆せるものなるが日
の小學數を約四分の一は

第二回入學式

開校一ヶ月を経過した東京女子
大學では六年午後五時から
二回入學式を舉行したに學
生三百名、新入學生百三十餘
後職員會議を開き、及落次
月諸課長等對する處分等時
分會散した、午後八時四十分
生徒數はこれより四百三十餘
七學級に擴充された

講談棧廢房取扱方

講話會開催

東京地方事務局長岩波

小學教員檢定

十一月中旬に行ふ

旅客機の墜落は
不可抗力か

操縦士の過失か

被害者は

元氣を回復

名はいづれも満鐵病院に收
され塚本外科醫長の執刀で
年三月三十一日まで全
つて運航時刻を改正す

▲チチハル、大連間（復）ハルビンから午

を要する、又荒井啓策酒井
縦士は打撲裂傷であるため

日往復、新京午前八
分發、午後二時四十

工學院

開校一ヶ年を経過した新京
學院では六日午後五時から
二期入學式を舉行した。在
學二百人、新入學生百三十
餘名、後援員會議を開き、及
り諸謝納者に對する處分方
面と協議をなし、午後八時
四分散會した。午は同學院
生徒數はこれで四百三十餘
七名級に擴大された。

機械燒房取扱方
講話會開催

正隆
新京
取銷

料亭
桐壺

料亭
桐亭
梅ヶ枝所一丁目
電話四七九〇番

新荷着
高整色
オリエントファイルム
多数入荷しました……………
一二〇(ブローニー)……一〇個
一二七(ベスト)……五二個
是非御使用願ひます
新嘉坡吉寧街門牌二百一十一號
乾貨眞館販賣部

力

電話二九五七

●申込所

漬物用

大根は!!

特大
同
同
御入用の御方は電話又は
居にて御申込下さい早速
石碑嶺農園
出張販賣
東四條通り二四

實業公

電話二九五七

化粧院

新通四九番地
五三八二番

幕乃家

場土町二丁目
電話二五〇七

番司所御葉錢錢錢

白の人 福祿は身と健は
 日と、登信の難は、へき日
 甲と乙と丑が吉
 二黒日、人、臨めは難く亦吉
 日と丑と癸が吉
 三、白の人、離反結合難なり
 ざら、白の人、至福安全
 申と亥と寅が吉
 四、黒の人、自ら信ずる所厚
 ければ、事全つる、成る
 甲と乙と寅が吉
 五、黄の人、粗暴の振舞を、或
 る忠直は、希望難なり、に倒
 れと辛と癸が吉
 六、白の人、物事半途に、に倒
 る、事あは、勝み出し、大切
 甲と乙と己が吉
 七、赤の人、苦勞する、割合に
 功果は、左程なく、にぬなり
 庚と辛と癸が吉
 八、白の人、迷ふことなく、運
 直行する、は、功果自ら、獲る
 己と庚と癸が吉
 九、赤の人、急功を、望みて、隨
 勢を、生じ、易日、價重を、要す
 丙と庚と壬が吉

（昭和十三年四月）

專門
產婦人科
內小兒科

新
都
西
院

新
京
梅
ヶ
枝
町
三
丁
目
（東二條通）

電話二七六四番

免許產婆
派出應需
即時往診
入院隨意

院長 醫學博士 饒村 佑一
副院長 女醫 饒村 貞枝
醫師 女醫 前田 悌

直扱の運搬は——電話三八七八番へ!!

海陸運送
建築材料運搬
引越荷荷造
市内運搬

丸正運送店

新
京
三
笠
町
四
五
番
路
三
八
七
八
番

萬年筆

販賣
零
門

小兒科
長春醫院

中央通二六番地電話三四一

新
京
神
社
ノ
ス
ク
剛

國際

トースター

實用新案
意匠登錄
登錄商標

あらゆる

缺點を改良せる

現代ストーブ界の

最高權威

國立燃料研究所實驗證明
東京工業大學 淺川博士推薦

代理店
新東京日本橋通
大信洋行
電話三七〇八番

効りぬ速病き薬 ルーベリ

利比兒

内服數時間後に青き尿を出し尿道の淋菌死滅し放尿と共に排洩す因てうみゝり痛み速く消散す

特製ルーベリは現代淋病治療中最も速き藥劑として内地に傳へ論議外諸國に到る迄絶大の信用を得しあり特製ルーベリを内服すれば生理作用により尿道に直接殺菌力と吸收され膀胱腔に入りて尿道殺菌性の尿と化し放尿時殺菌作用を行つゝ排出する効力を有す。由つて今迄苦痛なりし患者も服藥翌朝より自ら爽快なる氣分を一轉す。その藥效の説明は数千萬言を要すよりも多くの眼讀者の實感なきは數日間の試服にて事實を知られ

本劑の特徴は

- 一、服藥翌朝尿は藍色に變じ強きルーベリ臭を放つて排泄す同時に覺へ難き快感を覺ひ、數日後にはその喜び頂點に達す。
- 一、今迄尿道に繁殖しつゝあるべき無數の淋毒菌はこの恐るべき藍色尿に由つて美事殺菌作用を行ひ速かに體外に放出してしまふ故に煩はしき又危険多き自家尿道洗滌の必要更になし。
- 一、特製ルーベリの藥效を確實に知るには服藥前と服藥後の尿を探り専門家に希うて顯微鏡検査を施されるのが最も早道で服藥後日を逐ふて微菌が減び行く現象を視る事が出来る。
- 一、婦人のりん病も男子と同様効め速し。

洗滌の危険

淋病に罹られた人は必ず一度は尿道洗滌をやりたい。さうしてうんごを洗滌す。尿道洗滌の恐るべき弊害の實例一二を示せば

- 一、尿道より分泌する膿液に尿道に尿流の奥へ侵入し微菌は毒丸を脱し尿道や丸炎を起して恐ろしく腫れ上り疼痛を致す
- 二、患者の尿道は劇しく炎症を起すから細菌が尿道に附く。その上更に膿液を注入して一層の刺激を起す。そのために膿液の排出が却つてより困難しくなり、甚だしきに至つては血尿を出す以上自家尿道洗滌は百害あつて効果の微弱なるものであるから最も注意を要す

大坂市東區南久大町二丁目
發賣元 竹村製劑所

内地海外到處の藥店にあり

せんたんたむし
ルーベリ
すり込んでおきな
病りに快癒する

3062
2593

